

平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	国際航路協会アジア地区125周年記念事業の開催に必要な経費		担当部局	港湾局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H22/H22		担当課室	国際・環境課		室長 村岡 猛		
会計区分	一般会計		施策名	46 国際協力、連携等を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に、3行程度以内)	アジア地域における物流ネットワークの構築及び世界的環境対策に関する我が国の国際的地位向上のため、舟運と地域振興及び浚渫と環境に関して意見交換を行うとともに各国港湾関係者の友好関係の増進に資すること。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国際航路協会は、世界65カ国から31政府会員、約450団体会員、約2000個人会員によって構成され、港湾・航路等の技術的課題に関する調査研究、開発途上国への技術援助など、幅広い活動を続けている。2010年の国際航路協会設立125周年に際し、世界の各大陸で記念式典の開催が検討されていた。そのような中、国土交通省、水産庁、名古屋港管理組合、PIANC-Japan等が一体となって、記念式典の日本開催を誘致した結果、アジア地区記念式典及び評議会、執行委員会を名古屋で開催することとなった。記念式典の開催に合わせ、「沿岸・内陸水運と地域振興」及び「浚渫と環境」の2つをテーマとした国際セミナーを開催し、中国・韓国・東南アジア諸国から政府関係者、研究者等を招へい、各国の現在の取り組み状況、将来計画等についての講演を行うこととしている。本事業では、記念式典及び国際セミナーの開催にかかる運営を行い、円滑な技術的国際交流の促進を行うため、これら事業の運営を行うもの。							
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	0	0	13	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	0	0	13	0	0	
	執行額	0	0	9				
	執行率(%)	0	0	66.6%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	国際約束で決められた記念事業を開催するために必要な経費であることから、成果目標を示すことが難しい。			達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	記念事業開催回数			回	0 (0)	0 (0)	1 (1)	(0)
単位当たりコスト	8.731百万(円/回)		算出根拠	記念事業開催1回あたりのコスト 平成22年度に開催された、記念事業1回あたりのコストが記載されている。				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
				本事業は、125周年記念事業なので、22年度のみの実施となる。				
	計	0	0					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>記念式典では、皇太子殿下御臨席のもと、41カ国より約700名(うち海外からの参加者80名)を集め、「沿岸・内陸水運と地域振興」及び「浚渫と環境」の2つをテーマとした国際セミナーを成功裏に終了することができ、我が国の存在感を世界に示すことができ、当初の目的を達成することができた。</p> <p>また、後日国際航路協会本部から、「Best Performance National Section」を受賞し、本事業が高く評価されたといえる。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止		事業目的の達成状況から、改めて予算措置を講ずる必要がないと認められるため廃止とする。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
廃止			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

平成22年度実績を記入

国土交通省

(記念式典及び国際セミナーの開催)



【一般競争入札】

A.(株)日産社
9百万円

(記念式典及び国際セミナーの開催運営)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)(単
位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.株日産社			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	会議開催経費	9			
計		9	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.民間事業者

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	㈱日産社	記念式典及び国際セミナーの開催運営	9	9	66%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					